

コシヒカリの葉色は濃く、倒伏注意。1回目穂肥は慎重に!

1 生育概況

7/8 現在の生育	草丈：並	茎数：並	葉数の進み：並	葉色：濃い
※コシヒカリ (指標値比)	(104%)	(103%)	(+0.1葉)	(SPAD値+3.8)

- 「コシヒカリ」の生育は、葉色が濃く、茎数淘汰が緩慢です。下位節間の伸長による倒伏の発生が懸念され、もみ数過剰となる恐れがあります。
- 「こしいぶき」の生育は、草丈はやや長く、茎数は多く、葉色は濃くなっています。

2 今後の管理

- 中干し終了時期となっています。幼穂形成期頃までは浅水の間断かん水を実施し、その後は徐々に飽水管理へ移行して根の活力を維持してください。
- 「コシヒカリ」の出穂は、前年並みと見込まれます。5/10～15頃の田植では8/1頃が出穂期、7/9頃が幼穂形成期、1回目穂肥時期は7/14～16日頃の見込みです。
- 1回目の穂肥は、葉色が濃いことから「遅め、控えめ」を基本に、ほ場ごとに幼穂形成期の草丈、葉色を必ず確認し、施用時期と量を決めましょう。**(下表参照)

表 コシヒカリの幼穂形成期(出穂24日前頃)の生育による1回目の穂肥診断

草丈	葉色	並	濃い
		SPAD値 32～34	SPAD値 35以上
75cm以内		時期・量とも基準どおり施用	時期を遅らせて施用
75～80cm以内		施用量を減らす	時期を遅らせ、施用量を減らす
80cm以上		施用しない	施用しない

- 「こしいぶき」の出穂は、7月26日頃で前年より1日程度早まる予想です。2回目穂肥(出穂の13日前)は、5/10～15田植では7/13頃です。遅れずに、確実に施用しましょう。

3 生育調査結果 (7月8日現在)

	田植	草丈(cm)			茎数(本)				葉数(葉)			葉色(SPAD)			
		本年	指標比	前年比	本年	指標比	前年比	本年	指標差	前年差	本年	指標差	前年差		
コシヒカリ	下稲塚	5/9	70	103	101	m ² 当たり	株当たり	%	%	11.8	+0.5	+1.1	36.3	+1.8	-0.8
	高森	5/15	74	109	100	473	25.8	98	93	11.4	0.1	-0.5	42.4	+7.9	+3.6
	長崎	5/9	70	103	104	600	36.6	124	126	11.2	-0.1	+0.2	35.4	+0.9	-0.3
	広島	5/16	68	100	101	464	28.3	96	122	11.2	-0.2	+0.1	39.2	+4.7	+3.0
	平均		71	104	103	499	28.2	103	100	11.4	+0.1	+0.1	38.3	+3.8	+1.1
	関山	5/24	53	91	104	464	26.7	96	122	11.1	-0.2	0.1	39.2	+4.7	+3.0
こしいぶき	下稲塚	5/9	68	105	101	538	29.4	120	86	12.1	0.7	0.7	40.9	+4.9	+1.1
	長崎	5/18	70	108	123	684	34.2	152	157	12.3	0.9	1.3	46.4	+10.4	+6.1
	広島	5/13	65	100	93	448	27.3	100	105	11.7	0.9	1.3	40.4	+4.4	+1.1
	平均		68	105	105	557	30.3	124	112	12.0	+0.6	+0.6	42.6	+6.6	+2.8

4 北陸地方1か月予報 (新潟地方気象台 7月2日発表)

- 向こう1か月の天候は、暖かい空気に覆われるため気温は高い見込みです。また、期間の前半に気温がかなり高くなる可能性があります。